

課題：贈与経済を起動する

- ・ 影山知明著『ゆっくり、いそげ — カフェからはじめる人を手段化しない経済』(大和書房、2015年)を購入し、一冊を精読しなさい。
- ・ 私たちが暮らす資本主義社会では、「テイクからはじめる経済」が当たり前のことだが、そのあたりまえの経済が、私たちの人間関係から、なにか重要なものを奪っているということはないだろうか？ 本課題では、経済と、人間関係と、自分の生き方を、別の角度から見直してみることを試みる。
- ・ ①私たちの社会には、「テイクからはじめる経済」と、「ギブからはじめる経済」が混在している。この概念を論理的な言葉でしっかり表現できなければ、実際に応用することは難しい。ギブからはじめる贈与経済とはどのような概念か、そして両者の違いについて、あなたの言葉で論じなさい。
- ・ ②「ギブからはじまる経済(贈与経済)」をあなたの日常生活で起動しなさい。
 - 経済とは、人と人との関わり方の一形態である。経済を変えるということは、あなたが人との接し方を変えるということである。
 - 「ギブからはじまる経済」を起動させるために、どのようなことが必要か、なにをしてはいけないのか、なにをすべきなのか、本書で示された考え方や本講義での議論を具体的に応用して、あなたの人との接し方を変え、贈与経済を起動させなさい。
 - どのように行動したのか、その理由は何かを説明し、あなた行動がもたらした結果と顛末をまとめなさい。
- ・ 提出方法：
 - 課題×切： 7月26日(金)午前6時。
 - メールにて、樋口(higuchi @ okinawa-u.ac.jp)まで送付のこと。
 - メール表題に、「沖縄観光論」「提出者名(あなたの氏名)」を表記のこと。
 - 原則として、ファイルを添付せず、メールに直接原稿をコピー&ペーストしたものを送付のこと(多数のメールを私が確認しやすいためである。画像などを添付し、メールに直接ペーストしにくい場合などはこの限りではない。)



2018年6月19日掲示